

N・Hさん

本日はお忙しい中貴重な講話をしていただきありがとうございました。志望理由書についてだけでなく、「書く」ことを通して人に表現して伝えるという根本的な所から話を聞いて、とても良い機会になりました。その中で私が一番印象に残っているのは、負のイメージを無くす書き方をすることです。私は将来の夢がはっきり定まっていません。私のように将来の夢が決まっていない人は、「将来の夢が決まっていない」と書くのではなく、「大学で見つけていきたい」と書き換えるだけで、相手に伝わる言葉の重みが変わることに気づきました。将来の夢が決まっていない私は、どのように自分の考えをまとめたいかわかりませんでした。しかし、今回の講話を聞いて、「決まっていない」を「見つけていきたい」と言葉を変えて表現したり、その大学をより深く調べて「どんな人物像を描きたいか」を考えることが重要だと気づかれました。

また、誤字脱字の間違えに気をつけたいです。当たり前のことですが、「思う」や「だろう」ではなく、「考える」と言い切って、自分の意思の強さをより読んで人に伝えることを意識したいと思いました。私は漢字の間違えをすることがとても多く心配なので、実際に自分の手でたくさん紙に書く練習もしていきたいです。今回の講話を通してたくさんのことを学ぶことができました。今回の講話で学んだことをいかし、「一読しただけで自分を理解してもらえる志望理由書」の作成に励みます。本日は本当にありがとうございました。

N・Mさん

本日はお忙しい中、貴重な講話をしていただきありがとうございました。本日の講話で学んだ事を活かして、自分の志望理由を最大限伝えられる志望理由書の作成に努めます。今回講話を受けて、今まで想像していたよりもはるかに具体的に書くことが求められていると知りました。自分の将来について具体的にどうしたいか考えたことがなかったので、志望理由書を書くためにも良く考えてみようと思います。

また、今まで疑問に思いながら放置していた志望理由書を書く際の長い固有名詞はどうするのかということや、文字の大きさや薄さへの疑問点が解消されました。自分の言葉で書く事や、前向きな表現に変えて書くことが苦手なので改善していき、魅力的で志望校へ伝えたいことを伝えられる志望理由書を書きたいです。本日は貴重な講話ありがとうございました。今回学んだことを志望理由書だけでなく、文章を書くことに活かしていきたいです。

M・Yさん

本日はお忙しい中、貴重な講話をしていただきありがとうございました。志望理由書を書くにあたって、私は具体的に何を書けば良いのかが分からず苦戦していました。しかし今回のお話の中で、何をどの程度の割合で書くと良いのかということ詳しくお聞きすることができたので、今後の志望理由書の作成をする際に内容とその割合に気をつけたいです。

また、今回仰っていた文末表現に気をつけるということが強く印象に残りました。私は自分で書いた文章を見返す際に、批判的な意見を持ってしまうことが多くあります。そのため、文章がまとまらずに少し説得力に欠ける文章になってしまうことも多いです。しかし、文末に気をつけることで文章の明確さを出せることに気づくことができました。「～と感じる」や「～と思う」という表現はよく使ってしまうので、これから自分の考えを書く際には読み手を不安にさせないような表現で書いていこうと思います。本日は本当にありがとうございました。志望理由書に限らず、これから文章を書く際に今回の学びを生かしていきます。

## F・Sさん

本日は、お忙しい中志望理由書や小論文の書き方について講話して頂き有難うございます。私は、いつも文を書く時どうしたら相手に自分の意思を伝えるかについてよく考えます。その事だけを考えて書いていると、自然に自己中心的な文になっていきます。なので、今回の講話を聞いて文章の書き方や内容についても印象に残りました。その中で、特に印象深かったのは志望理由書に、大学側が学生に求めていることを書くべきだということです。次回書く志望理由には必ず学部の特徴を盛り込みます。今回の内容を踏まえ、今後に活かせるように試行錯誤をして頑張りたいです。本日は貴重な講話を有難うございました。

## Y・Kさん

講演会をありがとうございます。私は、講演会を聞いてまずその大学をしっかり調べることが重要だと学びました。建学の精神や目的、授業や科目内容などその学校に行つてどう言うことを学びたいか、なぜその大学に行きたいなどをはっきり書くことなどまだまだ自分の志望理由書を改善できるなと思いました。また実際に長所や短所、高校時代に印象に残っている取り組みなどを書き出してみても自分の長所や短所を見つめ直す機会になったり、実際に生徒が書いた志望理由書にアドバイスなどするのを聞いて自分も「ここの部分は書いたな」や、「これは書いてないな」など自分の志望理由書の修正部分が見えた気がします。最後に、今回は貴重な講演会をありがとうございます。このことを活かして良い志望理由書、自己PR書を書いていきたいです。

## I・Yさん

本日は、『志望理由書の書き方』の講演会を開いてくださりありがとうございます。私は今回の講演会を聞いて、文字を濃く大きくはっきり丁寧に書くこと、志望理由書を書くということ、志望理由書に書かない方がいいことのこれら3つが特に印象に残りました。

文字を濃く大きくはっきり丁寧に書くというお話では、原稿をコピーして複数人で確認しているため筆圧が弱いと薄くなって見えなくなるという事を初めて知りました。私は今まであまり気にしたことがなかったのでここで気づけてよかったなと思いました。また志望理由書を書くということのお話では、①から⑥の項目を一つずつ例を挙げて説明されており、今まで大体でしか分かっていなかったことをこの時間で知れてよかったなと思いました。そして、志望理由書に書かない方がいいことのお話では、思う・感じる・だろう・ようだを使わない方がいいという説明を聞きながら実際に自分が書いたものを見て、気づかないうちに使っていたことを知りました。最後に、これら3つの学んだことを意識して次の志望理由書をより良いものにしていきたいと考えました。重要なことを気づかせていただけるこの機会を作ってください本当にありがとうございました。

## M・Mさん

私たちは志望理由書を勉強している最中で、未熟なものしか書けません。担任の先生からもたくさんの直しを受けました。今回の講演を聞いて志望理由書を書く上で必要な情報や、大切なことを知ることができました。文末表現を変えるだけで相手への伝わり方が変わったり、～だろう。という表現が自信がないように見えたりすることを知りました。次に書くときは今回の講演でメモしたことを見返しながら考えようと思います。最後になりましたが、お忙しい中、講演会をしてくださりありがとうございます。

## O・Rさん

この講習を聞く前まで自分はこの大学に行きたいということしか書いていなかったが、その行きたい理由の具体例や大学の特徴をもっとかけるようにしようと思いました。また、ゼミや教授の名前を書くことはあまりしない方がいいということを知ることができとても良い経験になりました。この度はありがとうございました。

N・Mさん

本日はお忙しい中講義してくださり、ありがとうございました。志望理由書の書き方を詳しく知ることが出来る機会でした。「書く内容・表現する・伝える」この3つがとても大事だということを学びました。どれか1つでも出来ていなかったら伝わりづらい文章になってしまうんだなと思いました。

自分の意思をはっきりとさせた文章を作り、誰が見ても分かりやすい志望理由書を書くこと、自分の伝えたいこと・聞き手が聞きたいことをよく考えて書きたいと思います。私は、自己PRでいつも手が止まって書くのに時間がかかってしまうのですが、自分の志望理由書をより良くするために「伝える」を意識して考えたいと思います。これから志望理由書を書く際には、今日講義してくださったことを取り入れて書きたいと思います。改めて、本日はありがとうございました。

T・Sさん

本日はお忙しい中、講話を聞かせていただきありがとうございました。たくさんのことを学ぶことができました。志望理由書を書くときに何度も読み返して確認作業を怠らないようにしようと改めて思いました。文末の「～と思います」や「～感じました」を書かないほうが良いと聞いて、私はよく書いてしまっていたので直していきます。本日は大学の志望理由書についての話でしたが、就職にも生かしていきたいと思います。本日は本当にありがとうございました。

F・Cさん

本日はお忙しい中、貴重な講話をしていただきありがとうございました。本日の志望理由書について学んだことを活かして、理解しやすく、意欲が伝わるような志望理由書の作成に努めたいと思います。私が一番印象に残っていることは、表現の仕方で「思う」「感じる」「だろう」「ようだ」のような表現の方法、「体言止め」や「批判的な文章」はマイナス方向に話が進みがち。でも、「前向きな文章」はプラス方向に話が進む。というのを聞いて、そういう細かいところにも意識を向けながら書いていかなければならないんだな、と思いました。

また、濃く、大きく、丁寧に書けているか。誤字・脱字などがいないか。を自分で確認したい場合は、一度コピーしてみるとわかりやすい。ということをお教壇にいただき、良いことをしれたな、と思いました。志望理由書はいざ書くとすると、何を書けば良いのかわからなくなってしまい、本当に難しいものだな、と思いますが今日、聞いたことを意識しながら一つずつ改善させて、良い志望理由書を書きたいです。本日は貴重な講話をありがとうございました。今後の文章を書くことに対して活かしていきたいです。

H・Cさん

本日はお忙しい中、貴重な講話をしていただきありがとうございました。本日の志望理由書について学んだことを活かして、より相手に熱意が伝わりやすいような志望理由書の作成に努めます。

私が一番印象に残ったのは文末の表現についてです。「～思う。」「～感じる。」「～ようだ。」「～だろう。」という表現が弱く見え、好ましく無いことは初めて知りました。私は今までこのような表現を多用していたので、読み手から見て弱気に見えないよう、「～考える。」などの言い切る表現に変えるようにします。本日は貴重な講和をありがとうございました。今後の文章作成に活かしていきます。

## O・Rさん

本日は、お忙しい中講話をしていただきありがとうございました。本日学んだ志望理由書の書き方を習得し伝えるべき内容を適した表現で伝えられるような志望理由書を書けるようにたくさんの練習をします。

今日の講話を聞いて、私の中で一番大切と思ったことがあります。それは、①この大学を志望する理由②この学科を志望する理由③学ぶ意欲、目指す学生生活④将来の目標、目指す職業⑤これまでの活動⑥長所や短所。①から⑥まで伝えるべきことがあることに驚き、大切だということを知りました。私を書いた志望理由書を見返すと、①については、理由がはっきりとせず。②は先生からも言われた、誰でも書けるような内容でした。③は書いてありませんでした。④はもっと明確にするべきだと思いました。⑤は書いてありませんでした。⑥も書いてありませんでした。講話で教わった後に、自分が書いた志望理由書を見るとこんなにも不足していることがありました。自分の中では、上手く書けたと。思っていました。しかし、今日の講話で教わったことを取り入れて、伝えるべき内容を適した表現で伝えられるように志望理由書を書けるように何度も失敗を繰り返し、良い志望理由書を書きます。

## K・Aさん

先日はお忙しい中、貴重な講話をしていただきありがとうございました。私は志望理由書を書く際に「伝えるべき内容を適した表現で伝えるべき相手に伝える」ということが非常に大切だということを知りました。また入学した際に本校で学びたいことや、この学校でなければならない理由を自分の言葉で相手に納得してもらえよう意思をしっかりと伝えなければいけないということを知りました。さらに志望理由書を書く際に内容だけではなく、指定の字数やはっきりと言いきる言葉を使った方が良いなどということも知りました。

私は志望理由書を書き始めた頃は何を書けば良いのか、どのような書式で書けば良いのかわからず相手に伝わりにくい文章を書いていました。しかし先生の添削により徐々に内容の濃い志望理由書を書くことができるようになりました。これから、自分で志望理由書を書き直したりすることが多くなると思うので本日学んだ「伝えるべき内容を適した表現で伝えるべき相手に伝える」ということを頭に入れ、段落や言葉の使い方、文の長さを意識し、1番良い志望理由書を完成させられるようにしたいと思います。本日教えていただいた志望理由書は大学などの入試だけではなく、就職試験やその後などにも必ず役立って行くので、普段の授業などから役立てていきたいです。本日はお忙しい中、貴重な講話をしていただきありがとうございました。

## K・Sさん

今回はお忙しい中、講話をしていただきありがとうございました。二時間という短いお時間でしたが多くのお教を賜り、感謝しております。志望理由書を書くにあたって読み手側が知りたい事を伝えられるようにしたいです。

私が印象に残ったことは、自分がこの学校でなければならない理由をしっかりと書いて印象に与え、志望理由書から意欲を見せていくということがわかりました。また、文末に「～思う。」「～感じる。」「～考える。」や体言止めだと弱い印象与えるなど、という表現が、確信ではなく本当に知っているのかという方向に捉えられてしまうということであり良くないということ、文末表現を気を付けることで少し変わるということも知れました。

また、読み手側が、どのように読むのか批判的に書くよりも前向きに書くことにも気を付けたいです。志望理由書の書き方、ポイントが少しは、わかるようになりました。今回の講話を聞いてまだまだ直す箇所があると思いました。しかし、今回の講話を踏まえて、誰が読んでも伝えたいことがわかるようにすることを意識して今後の志望理由書も書いていきたいです。今回は貴重な講話を本当にありがとうございました。今後の志望理由書を書く際に活かして行きたいです。

I・Hさん

本日はお忙しい中、私たちのために講話をしていただきありがとうございました。志望理由書の書き方はなんとなくでしか知りませんでしたが、細かいところまで掘り下げてポイントを教えてくださってとてもためになりました。指定字数を超えると読んでもらえないことがあるというのはとても衝撃的でした。

文章は短いより長い方が意欲が伝わりやすいことや、～だろう、～だと思いますなどは表現として弱いことを知りました。私の志望理由書を読み返したらたくさん使っていました。なので、「決意した」や、「考える」など言い切る表現を使うことの大切さがわかりました。またお話を聞いて実践できるなど思うことも多かったです。

例えば、小論文などの対策は書く時間を計ってみて自分のかかる時間を把握することや、一度コピーしてみて自分の字の見やすさを確かめることです。私がやったことないことだったので実践したいです。また、志望理由書は相手が何を知りたいのか理解して具体的に適した表現で伝えることが大事だと学びました。なのでそれができるようになるためにも行きたい大学の情報をたくさん調べて自分の言葉で書く練習をしていきたいです。

本日は本当にありがとうございました。